

一般質問 通告一覧

1 佐川 京子 議員 9月9日（水）質問予定

質 問 事 項 ・ 要 旨
1. 公共交通政策について （１）まず改めて本市の公共交通政策の基本的考えについてと現在の課題、さらに今後目指していく本市の公共交通の取組について伺います。 （２）今年度から始まった定率タクシー移動支援事業に対する市民の反応について伺います。 （３）市民の足としてさらに利便性を高めて欲しいとの要望がありますが、タクシーについてさらにご検討頂きたいのが区域内均一料金です。このことについてお伺いします。 2. 農業政策について （１）農業者に対する支援について伺います。 （２）本市の農業政策における今後の基本的方向性について伺います。 （３）本市の市内総生産に占める農業の割合について伺います。 （４）米価下落に伴う農家の税の相談について伺います。

一般質問 通告一覧

2 植村 美洋 議員 9月9日（水）質問予定

質 問 事 項 ・ 要 旨
1. 文化財の管理・活用について （１）現在工事中の清水門は来年完成する予定であるが、その際には三重櫓の見学を有料とするのか。この件については、昨年にも一般質問をおこなっているが、その後どのように検討されたのか、あらためて考えを伺う。 （２）南湖公園の共楽亭はかなり老朽化しているようであり、改修または全面的な改築工事が必要と思われるが、考えを伺う。 （３）南湖築造の由来について書かれた「南湖開鑿碑」は、元々は湖畔にあったといわれているが、現在は湖畔から道路を隔てた北側の山の斜面にあり、観光客や市民の目に触れにくい。元々の湖畔の位置に戻す必要があると思われるが、考えを伺う。 （４）来年は白河藩成立４００年の記念の年ということで、この記念事業のひとつとして、旧白河城（小峰城）の大手門跡に説明板を設置してはどうか、考えを伺う。 2. 産業振興について （１）市ではこれまで、「農産物ブランド白河しろもの」事業を進め、さまざまな商品がブランド化された。これらの商品をさらに発展させていくためには、これらのブランド商品を組み合わせたメニューや弁当などの商品の開発が有効と思われるが、考えを伺う。 （２）商品の開発、特産物の開発などの気運を醸成するためには、講演会・ワークショップの開催、あるいは先進地の視察などが必要と思われるが、考えを伺う。 3. 複合施設の事業について （１）現在建設中の複合施設「しらふる」が来年完成予定であるが、健康に関する事業としてはどのようなものが計画されているのか伺う。 （２）生涯学習に関する事業としてはどのようなものが計画されているのか伺う。

一般質問 通告一覧

3 根本 建一 議員 9月9日（水）質問予定

質 問 事 項 ・ 要 旨
1. 農業政策について （１）国の米政策について 令和の米騒動以降、国の米政策について、本市としてどのようにとらえているか伺う。また、その政策が農家に与える影響の認識、更に今後国や県に求めている事など対応について伺う。 （２）米価下落対策について 生産資材が高止まりするなか、本年産の米価が大幅に下落すれば、更に離農する農家が増えることが懸念されるが、本市としてどのように認識し、また、対応すべきと考えているか伺う。 （３）食品消費税１％にかかる農家負担対応について 来年４月から食品の消費税が１％に引き下げられる方針について、本市としてどのように認識しているか。また農業者への不利益や混乱が生じないよう国に対策を求めること、及び本市の支援等が必要と考えるがどうか。 （４）山菜の出荷制限について 本市における山菜、いわゆる「山の恵み」の出荷再開に向けた取組について伺う。 （５）農業法人参入促進事業について 中長期的には大規模園芸施設の誘致を進めていくことを視野に入れつつ、短期的には土地利用型の農業法人参入を進めていくとしているが、その取組について次により伺う。 ①これまでの取組の成果と課題について 本市ではこれまで、大規模施設型の最先端技術農業誘致を進めてきたと理解しているが、これまでの取組の成果と課題をどのように総括しているのか伺う。 ②本市としての農業版企業誘致の制度化について 農業参入促進事業を単なる調査にとどめず、遊休農地対策、雇用創出、担い手の確保を一体で進める白河版の農業誘致として制度化すべきと考えるがどうか。 ③推進体制整備について 今後農業法人参入促進事業を進めるにあたり、どのような条件や体制整備が必要と考えているのか伺う。 （６）観光と農業の連携について 南湖公園がもつ観光資源としての高い知名度を活かし、その周辺で農業体験、食文化体験、収穫体験、季節のイベントなど組み合わせ、観光と農業を一体化させるような取組を構築してはどうか。 2. 防災政策について （１）全国の災害から得るべき教訓について 本市では、これまでの全国的な自然災害からどのような教訓を得て、それを地域防災計画や日頃の防災行政にどのように反映しているのか、また、させていく考えなのか伺う。 （２）母子避難所の整備について 妊産婦や乳幼児を抱える世帯が安心して避難生活を送ることができるよう、母子避難所の整備

や母子に配慮した専用スペースの確保、必要物資の備蓄、運営体制の整備が必要と考えるかどうか。

(3) 要配慮者支援と個別避難計画について

高齢者、障害のある方、医療配慮を必要とする方など要配慮者への支援体制の実効性が改めて問われているが、本市における現在の取組状況はどうなっているのか、また今後どのように実効性を高めていくのか伺う。

(4) 防災マップの活用促進と情報伝達の強化について

本市では、令和5年3月に防災マップを改定し、河岸浸食や氾濫流の情報などを追加しているが、市民一人ひとりが内容を理解し、いざというときに避難行動へ結びつけられるよう、マップの周知徹底と活用促進さらに高齢者をはじめとした情報弱者にも確実に情報を届けるための情報伝達の強化について、今後どのように取り組んでいくのか伺う。

令和8年9月定例会

一般質問 通告一覧

4 戸倉 宏一 議員 9月9日（水）質問予定

質 問 事 項 ・ 要 旨

1. 戦争遺産について

- ①戦没者慰霊碑（忠魂碑）の維持管理における課題と市の関わりについて伺う。
- ②散逸する戦没者遺品を含む戦時関係資料の保存について伺う。

2. 大信総合運動公園管理について

- ①野球場の管理について伺う。

一般質問 通告一覧

5 遠藤 公彦 議員 9月9日（水）質問予定

質 問 事 項 ・ 要 旨
1. 福祉行政について （1）孤独死・孤立死について ①孤独死・孤立死が大きな社会問題となっていますが、市はどのような認識をしているか伺います。 ②本市の単身世帯の現状と今後の推移について伺います。 ③今後、本市において、単身世帯の増加が見込まれるなか、孤独死・孤立死のリスクを減らすために、どのような施策を行っていくのか伺います。 2. 移住・定住について （1）白河市新幹線通勤補助金について ①白河市新幹線通勤補助金の利用状況について伺います。 ②新幹線停車駅の利便性を生かした移住・定住の取組として積極的にPRすべきと思われますが、考えを伺います。 3. 教育行政について （1）部活動地域展開について ①部活動地域展開の改革推進期間（令和5年度から令和7年度）において実施した内容と成果、課題、今後の展開について伺います。 ②部活動地域展開を推進して行くにあたり、学校部活動が担ってきた教育的意義（人格形成・社会性育成等）は極めて重要と考えますが、どのようにして継承して行くのか伺います。

一般質問 通告一覧

6 室井 伸一 議員 9月10日(木) 質問予定

質 問 事 項 ・ 要 旨
1. 給付付き税額控除の制度導入について (1) 導入に伴う市の考えを伺う。 2. ごみ袋について (1) 現在使用されているプラスチック製のごみ袋をライスレジンを使用したバイオマスごみ袋に してみることにについて伺う。 3. 避難所について (1) 真夏の季節における避難所の在り方について伺う。 4. 孤独・孤立対策強化のための傾聴型生成 AI を活用した 24 時間相談体制について (1) 白河市こころの AI 相談窓口について伺う。 5. 高齢者肺炎球菌結合型ワクチンについて (1) ワクチン接種費用を助成することについて伺う。

一般質問 通告一覧

7 佐川 琴次 議員 9月10日(木) 質問予定

質 問 事 項 ・ 要 旨

1. 観光行政について

- (1) 国道 289 号八十里越え、令和 9 年 8 月以降に、約 40 年の年月を経て、只見町から新潟県三条市まで、20.8Km が開通予定です。三条市から八十里越えを利用すれば、北陸道、磐越道を利用しなくても、白河市まで約 3 時間で戻ることが可能になります。白河市や関係する町村との連携をして、新たな観光ルートを考案すべきと思いますが、今後の白河-奥会津地域の広域連携の展望について市長の考えを伺う。
- (2) ふくしまデスティネーションが、4 月 1 日から 6 月 30 日の 3 ヶ月間、県内全域での開催、白河独自の開催、9 市町村の連携した取り組みが開催されました。
今回のデスティネーションキャンペーンの白河市独自の開催の総括と 9 市町村の連携の取組の総括を伺う。
- (3) 現在県南地域には、日本グラウンド・ゴルフ協会認定のグラウンドゴルフコースがありません。この競技は子どもから高齢者まですべての方が楽しめるスポーツで、集中力や調整力を発揮する場面がうまく組み合わされており、初心者でもすぐに取り組みます。高齢者の健康増進につながり、対話をしながらプレーができ、認知症予防にもつながります。少子高齢化の今だからこそ、日本グラウンド・ゴルフコースを県南の中心である、白河市の東風の台運動公園内に完備すれば、新たな交流人口、関係人口の増加に繋がります。白河市の考えを伺う。

2. 東地域活性化協議会活動報告書について

- (1) 令和 6 年度から令和 7 年度の活動報告書が、東地域活性化協議会から令和 8 年 2 月 21 日付けで、東風の台運動公園を中心とした東地域の活性化についてと題して、白河市に提出されております。内容としましては、1、第 5 期の活動内容について(1)課題(2)改善策。2、まとめ。3、全体の活動内容が 12 ページにまとめてあります。
まとめの内容のみ抜粋しますと、東風の台運動公園において、幅広い年代や地域のニーズにあったサービスを広く提供することで、今後の東地域がより活性化していくものと期待するとあり、具体的な内容は
 - ①ローラースケート場やゲートボール場、芝の広場を一体化しオートキャンプ場、スケートボード、ドッグラン施設等への整備を図る。
 - ②バーベキュー場のリニューアル、移動式バーベキューコンロの配備、食材の供給 等、手ぶらでバーベキューを復活させることで、お客様のニーズに応える。
 - ③ふれあいプールに遊び場(キッズパーク)を整備し、休館期間の活用を図る。
 - ④公園内の照明やトイレ、駐車場の整備を行い、安全面・衛生面を確保する。
 - ⑤桜の季節にはライトアップなどを行い公園内の魅力を発信する。
 この報告書を白河市として、どのように受け止めているのか伺う。

一般質問 通告一覧

8 大花 務 議員 9月10日（木）質問予定

質 問 事 項 ・ 要 旨
1. 白河藩成立 400 年記念事業と伝統文化共楽事業の概要と今後の予定について伺う。 2. 複合施設整備事業の進捗状況と主な事業内容と成果について伺う。 3. 令和 7 年度中央公民館活動事業の主な事業内容と成果と教室等の担当者について伺う。 4. 令和 7 年度健康ポイント事業の概要と成果について伺う。 5. 城山公園水堀水質浄化事業の概要について伺う。 6. 清水門復元整備事業の進捗状況と今後の予定について伺う。 7. 令和4年度～7 年度までの市有財産（土地）の公売実績について、各年度の主な場所と件数と金額を伺う。

一般質問 通告一覧

9 大竹 功一 議員 9月10日（木）質問予定

質 問 事 項 ・ 要 旨
1. 市民の安全・安心な生活について （１）日本工機株式会社白河製造所における新規造成及び工場の施設内容の市が知り得ている内容について伺う。令和８年８月現在、日本工機白河製造所は本工場敷地の北側地区に９，６５３平米の造成及び施設工事が進められています。そこで現在、白河市が得られている新工場の整備内容及び事業内容について伺う。 ①主な業務が防衛装備（銃砲弾など）や産業用火薬類・爆薬の製造・研究開発とある。今回、増設される施設整備に防衛装備品及び爆薬製造等がある場合、その市民の安全・安心についてどのような説明があったのか伺う。 ②万が一、外国からのミサイル着弾等の緊急事態が生じた場合を想定した市が現在行っている対応について伺う。 2. 市民生活行政について （１）動物愛護行政について ① 地域猫について イ）地域猫とは、どのようなものか。その認識について、市当局の認識を改めて伺う。 ロ）今回、広報しらかわに「地域猫に関連する記事」が掲載されると聞いた。掲載される経緯について伺う。 ハ）今後、白河市は住民に対してどのような対応をし、指導していくのか伺う。

一般質問 通告一覧

10 大木 絵理 議員 9月10日（木）予定

質 問 事 項 ・ 要 旨

1. 災害時の対応について

- （１）大規模な災害時に、市民の誰もが速やかに避難し命を守る行動をとるためには、町内会単位などの、自主防災組織の設立とその強化が急務であると考えているが市の現状や考えを伺う。
 - ①現在、本市の自主防災組織率は何%なのかを伺う。
 - ②自主防災組織の設立を進めるために、本市はどのような取組をしているのかを伺う。
 - ③更なる施策の導入をし、自主防災組織の設立と強化を推進するべきだと思うが、市の考えを伺う。
- （２）避難生活から生活不活発病や災害関連死などが起きるリスクを軽減するための取組として、市はどのような取組をするのか伺う。
- （３）未就学児や、発達障がいをもつお子さんがいる家庭は、広いワンフロアの避難所で暮らすことが難しいと考える。災害関連死を抑制するため、どんな家庭であっても、安心して避難所生活ができるような取組が必要だと思うが、本市の考えを伺う。
- （４）医師、看護師、介護士など、保護者が被災者であっても就労しなければならない世帯は、大規模な災害後であっても、子どもの預かり先が必要になると考えるが、災害発生後の子どもの預かり先はどのように確保するのか伺う。
- （５）有事の際、各世帯によって避難に対する困りごとや要望は異なると考える。自助・共助の観点から、平時より各家庭が災害時にどのような手助けが必要となる状況なのか実態把握が必要と考えるが、市の見解を伺う。

2. 複合施設について

- （１）複合施設建設後のランニングコストは年間どれぐらいになると試算するのか、また、その財源はどのように確保される見通しなのかを伺う。
- （２）複合施設建設後、集約された市内の施設は、どのような見通しで利活用されるのかを伺う。

3. 選挙における投票率向上のための取組について

- （１）本市における投票率は毎回下降傾向にあり、投票率を向上させる取組が必要だと思うが、本市の考えを伺う。
- （２）他の自治体の取組として、投票証明書や投票記念証を発行することで、各店舗、企業のサービスの享受や、主権者教育の一環となる事例が見られている。このように、投票証明書や記念証を発行する必要性について、市の見解を伺う。

一般質問 通告一覧

11 柴原 隆夫 議員 9月11日（金）質問予定

質 問 事 項 ・ 要 旨

1. 真夏の災害対応について

本年7月28日に発生した熊本地震は、国内で初めて真夏に最大震度7を観測する地震となりました。多くの被災者は連日の猛暑日、40度を超える命に危険がある「酷暑日」もあり、厳しい暑さの中での避難生活を強いられており、真夏の避難対策にいろいろな課題と教訓をもたらしております。この幾つかの課題と教訓について学んで行きたいと考えます。

（1）「呼びかけ車中泊」について

停電、エアコンが設置されていない建物の中は蒸し風呂のように熱くなり、かえって危険と判断し避難所の開設を見送り、やむなく学校の校庭などを開放し車中泊の呼びかけが行われました。これにより給油の供給不足の問題が生じ、自宅駐車場での車中泊でガソリン切れによる熱中症で亡くなる事態も起きました。今後、このようなやむなく「呼びかけ車中泊」が予想されます。また、プライバシーやいろいろな理由で車中泊をする被災者がおります。この車中泊や季節に応じた避難対応についても検討しておくとは必要かと思いますが、如何でしょうか。

（2）真夏の避難対策は途上

真冬の能登半島地震、真夏の熊本地震は寒さ、暑さに対応した避難の有り方に多くの課題がでております。今後、暑さ寒さに応じた避難対策が必要と思われます。地震発生時の停電・断水の対応が一番厄介なものです。

①多くの被災者が厳しい暑さの中での避難生活を強いられ、冷房設備が不足する避難所もあり、体調不良を訴える人も相次いでおります。エアコンや発電機は予算がかかり、真夏の対策はなかなか進んでいなかったといえます。本市の避難所へのエアコンの設置状況や発電機はどのようになっているのでしょうか。

②冷房設備が不足する場合として移動式クーラーが必要になりますが、その対応を整えておくことは必要かと思われますが、如何でしょうか。

（3）人手不足によるプッシュ型支援の課題について

車両や人手不足などで広域物資輸送拠点から避難所までの「ラストワンマイル」の輸送が滞り、被災者に届かないケースが多く発生しております。職員自身が被災者でありながら被災者の対応に当たっておりへとへとに疲弊しております。被災した自治体では、地域の輸送拠点から避難所に運ぶ職員が足りず、物資の受け入れを停止する事態が起き、拠点となっている総合体育館に配り切れない物資が山積みとなっている実態があります。

「自治体の職員には限界があります。平時に物資やボランティアを受け入れる役割の市民らを養成しておく必要があります。受け入れの訓練や受け入れ担当者を養成ができていないと、災害のたびにおなじことが起きる」と、読売新聞社は静岡大防災総合センターの岩田教授の提案を引用し、このように指摘しておりますが、如何でしょうか。

（4）水道管の耐震化について

停電は1週間程度で復旧しますが、断水の解消には長い時間がかかります。甚大な被害に見舞われた自治体では、水道管の破損箇所を把握仕切れず、復旧に相当の長い時間がかかります。24年の能登半島地震では断水がほぼ解消されるまで約5ヵ月かかりました。避難所や災害拠点病院など重要施設につながる水道管の耐震化率は、宇城市では4%にとどまっております。

本市の耐震化率はどのようになっているのでしょうか。また、水道管の耐震化はどのような進め方になっているのでしょうか。

(5)「災害用井戸」の設置について

2016年の熊本地震で、宇城市は上下水道が破損し生活水の確保が困難になりました。宇城市はこれを教訓に「水対策」を行ってきました。それが、災害時の洗濯やトイレなどの貴重な生活用水として活用される「防災用井戸」です。断水が長期化し、市内9カ所に設けたこの井戸は住民の「助かる」貴重な生活用水となっております。断水の復旧に時間がかかることから、このような「災害用井戸」を設けることは必要と考えますが、如何でしょうか。

本市では、避難所などにこれに類した災害用井戸はあるのでしょうか。また、防災拠点センター等には「災害用井戸」の設置が必要かと思われますが、如何でしょうか。

2. 線状降水帯の脅威について

千葉県では8月13日、線状降水帯が3回発生し、8月降水量の2〜3倍の雨量が半日で降り、想像を超える豪雨で市街地が冠水し、水没した車の中で命を落とす人もおりました。8月27日未明には石川県、富山県、福井県にも同様の線状降水帯による「レベル5大雨特別警報」が出され、大きな災害をもたらしております。今後、どの自治体でも同様の現象が起き、局地的な大雨になる可能性があります。また、最近では二つの台風が同時に接近するなど想定外の事態も増えております。十分な警戒と備えが必要です。

(1)「内水氾濫」への対応は「啓蒙」が大切

千葉豪雨では街なかの道路の冠水が相次ぎ、水没した車の中に閉じ込められるなどして複数の人が犠牲になりました。1時間に約65ミリの降水量に対応できるよう雨水貯留槽の整備や排水路増設など対策を進めてきたが、今回はその倍以上の雨量で、処理能力をはるかに超えてしまいました。千葉県豪雨、福井県豪雨では雨水が排水施設の処理能力を超えて地上にあふれる「内水氾濫」が起き大きな被害をもたらしております。積乱雲が次々と発生し、大雨を降らせる線状降水帯による「内水氾濫」が各地で起きております。

①排水施設の処理能力を高めることが必要と考えますが、如何でしょうか。

②本市の排水能力はどうなっているのでしょうか。

③排水施設の処理能力を高めることの施策はどのようなものなのでしょうか。

④「内水氾濫」から命を守る行動をとれる啓蒙が大切といえます。千葉県豪雨、福井県豪雨の「内水氾濫」の教訓から「冠水した道路には入らない」「冠水した道路を車で移動することは危険です。早めに安全な場所へ避難する」「雨水がたまったアンダーパスは危険である」「車の水没で窓が開かない状況に備え、手軽な脱出用ハンマーを常備しておく」等の啓蒙の大切といわれてきましたが、如何でしょうか。

(2)「内水氾濫」のハザードマップについて

大雨による河川からあふれる「外水氾濫」へのハザードマップは整っておりますが、上記の啓蒙に加えて「内水氾濫」に備えたハザードマップの周知をどのように行っているのでしょうか。

3. 熊田学園による「旧信夫第二小学校」の利活用について

令和6年6月議会の議案説明が行われた全員協議会で、旧信夫第二小学校の利活用に「きのくに子どもの村学園」をモデルとした私立小中一貫校創設を提案した「熊田学園」が採用され、賃貸借契約が行われる件についての説明がありました。

私は、同年6月議会で「学校がなくなることは地域にとってとても寂しいことです。大信地区に

とりまして旧信夫第二小学校が再び生き返ることはどんなに喜ばしいことでしょうか。「きのくに子どもの村学園」がモデルとなる私立小中一貫校が、旧信夫第二小学校の校舎利活用に応募されたことが夢のようです。」と感想を述べました。

(1) 契約の内容はどのようなものであったでしょうか。

(2) 現在、熊田学園の「旧信夫第二小学校」の校舎利活用状況はどのようになっているでしょうか。

令和8年9月定例会

一般質問 通告一覧

12 深谷 弘 議員 9月11日(金) 質問予定

質 問 事 項 ・ 要 旨

1. 3年見直しを迎える介護保険事業計画について

今年度は、第9期介護保険事業計画の3年目にあたる。市においては、介護保険事業計画の策定自体は市町村の義務（介護保険法第117条）であるが、計画そのものの決定は市長（執行機関）の権限で行われ、直接の議会議決事項にはなっていない。ただし、計画に伴う介護保険料率の改定や関連条例の制定・改正（介護保険条例など）については、市議会での議案提出・議決（原案可決など）が必要となる。次の3年間（令和9年度～11年度）の事業計画の策定や計画に伴う介護保険料率の改定や関連条例の制定・改正の進捗状況について伺う。

(1) 新たな介護保険事業計画の策定作業はどのように進められているか。

①策定スケジュールについて

②介護保険運営協議会における検討状況

③計画に伴う介護保険料率の改定や関連条例の制定・改正はどうか。

(2) 第9期介護保険事業計画における到達について

①介護サービス基盤の整備について

②介護及び介護予防サービス給付費の状況

③介護保険特別会計における歳入・歳出決算状況

2. 大規模災害に対する備えについて

(1) 市のホームページ「防災」について

①白河市備蓄品一覧と保管状況

②避難指示と避難時の持出品等

(2) 避難所運営等避難生活支援のためのガイドラインについて

①「避難所の質の向上」という考え方

②平時の備えについて

③避難所冷房整備5年前倒し